



世界トップクラスを目指す国際フォワーダー

証券コード: 9381
(東証第二部)

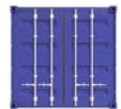
2011年2月期 決算説明会



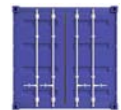
株式会社エーアイテイー

2011年4月7日(木)

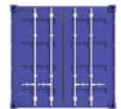
<http://www.ait-jp.com/>



業績概要 (2011年2月期 決算概要)



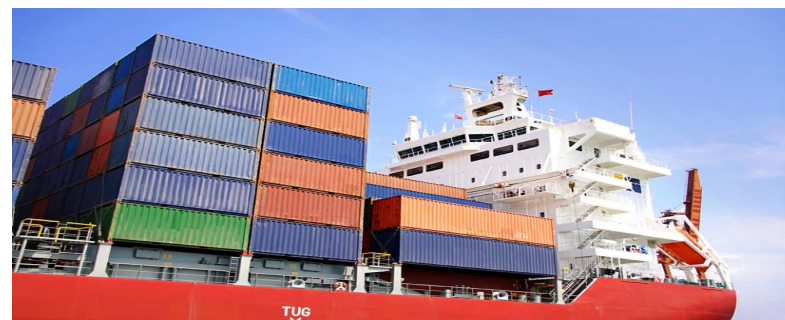
業績見通し (2012年2月期 通期業績見通し)



今後の事業戦略および展開



業績概要（2011年2月期 決算概要）





■ 営業収益(売上高)及び損益関係

～ 前年比較 ・ 対外発表比較 ～

(単位:百万円)

	2010年2月期		2011年2月期		前期比増減		対外発表金額	対外発表増減	
	金額	営業収益比率	金額	営業収益比率	金額	前年比		金額	比率
営業収益	10,113	100.0%	13,631	100.0%	3,518	+34.8%	13,522	108	+0.8%
売上総利益	2,570	25.4%	2,992	22.0%	421	+16.4%	—	—	—
(販売費及び一般管理費)	(1,787)	(17.7%)	(2,008)	(14.7%)	(221)	(+12.4%)	—	—	—
営業利益	783	7.7%	983	7.2%	199	+25.5%	909	74	+8.1%
経常利益	820	8.1%	1,022	7.5%	202	+24.7%	937	84	+9.0%
当期純利益	468	4.6%	580	4.3%	111	+23.9%	567	13	+2.4%

(※ 対外発表金額は、平成22年8月31日発表「平成23年2月期(平成22年3月1日～平成23年2月28日)の業績予想」の数値となります。)

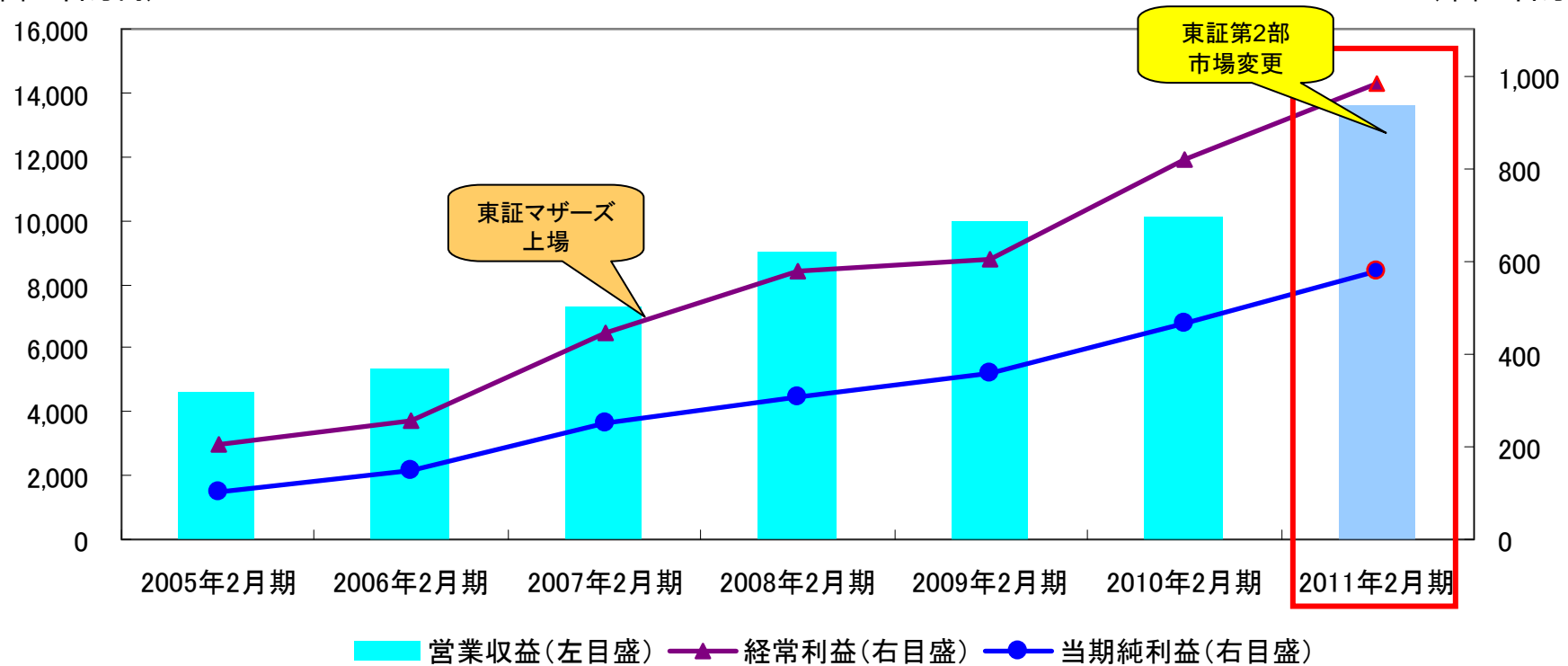
- 営業収益、当期純利益は、前年比堅調な増収増益を記録できた。
- 売上総利益(粗利益)比率が、25.4%⇒22.0%と3.4ポイント低下したが、販売費及び一般管理費比率も、17.7%⇒14.7%と3.0ポイント低下した為、結果として、営業利益率は、7.7%⇒7.2%と0.5ポイントの低下に留まった。



<7期間における売上高、経常利益、当期純利益の推移>

(単位:百万円)

(単位:百万円)



(※ 2005年2月期より連結財務諸表を作成しております。)

○ 連結決算開始以降、7期連続で増収、増益



■ セグメント別営業収益(売上高)増減詳細 (前年比較)

(単位:百万円)

	2010年2月		2011年2月期		増減額	増減内訳額	増減内訳
	金額	構成比	金額	構成比			
海上輸送	6,728	66.5%	8,675	63.6%	1,947	△271 △69 +2,287	為替の影響 販売価格の減少 貨物量の増加
航空輸送	433	4.3%	646	4.8%	212	△32 +25 +219	為替の影響 販売価格の上昇 貨物量の増加
通関	1,275	12.6%	1,773	13.0%	497	+497	受注件数の増加
その他	216	2.2%	305	2.2%	88	+88	受注の増加
子会社	1,458	14.4%	2,230	16.4%	771	+771	子会社での収益増加
合計	10,113	100.0%	13,631	100.0%	3,518		

■【為替】

1米ドル当たりの 売上計上加重平均為替レート
 2010年2月期 94.56円
 (期中平均△7.05円)
 2011年2月期 87.51円

■【販売価格の減少・上昇、及び貨物量の増加】

海上輸送においては、仕入運賃が上昇するものの、販売価格の維持、又は引下げにより、既存顧客の物量確保、新規顧客の獲得を推進。航空輸送においては、仕入運賃が上昇に伴い、販売価格も一部上昇。また、海上輸送同様、貨物集荷に注力。

■【通関受注件数の増加】

海上輸送、航空輸送での取扱貨物増加に伴う相乗効果から、通関受注件数も増加し、営業収益も前期比増加した。
 受注件数: 2010年2月期 22,939件
 2011年2月期 31,093件 (前期比 +8,154件)

■【子会社】

海上輸送、航空輸送の取扱貨物増加に伴い、子会社においても営業収益が増加。



2011年2月期 連結決算(業績)概要-4



■ セグメント別売上総利益(粗利益)増減詳細 (前年比較)

(単位:百万円)

	2010年2月		2011年2月期		増減額	増減内訳額		増減内訳
	金額	構成比	金額	構成比				
海上輸送	1,484	57.7%	1,590	53.1%	105	△60 為替の影響		
						△253	△69 販売価格の減少	
							△184 仕入価格の上昇	
						+418 貨物量の増加		
航空輸送	114	4.5%	133	4.5%	19	△9 為替の影響		
						△17	+25 販売価格の上昇	
							△42 仕入価格の上昇	
						+45 貨物量の増加		
通関	465	18.1%	603	20.2%	138	+138 受注件数の増加		
その他	28	1.1%	44	1.5%	16	+16 受注の増加		
子会社	479	18.6%	620	20.7%	140	+140 子会社での収益増加		
合計	2,570	100.0%	2,992	100.0%	421			

■【為替】

前期比1米ドル当たり7.05円の円高により、売上総利益(粗利益)にも影響

■【販売価格の減少・上昇、及び貨物量の増加】

- ・海上輸送では、仕入価格が184百万円上昇したものの、販売価格は69百万円低下し、新規を含めた貨物量の増加に注力。
- ・航空輸送でも、仕入価格が42百万円上昇したものの、販売価格には25百万円しか転嫁できなかった。
- ・海上輸送、航空輸送とも貨物量の増加が寄与した。

■【通関受注件数の増加】

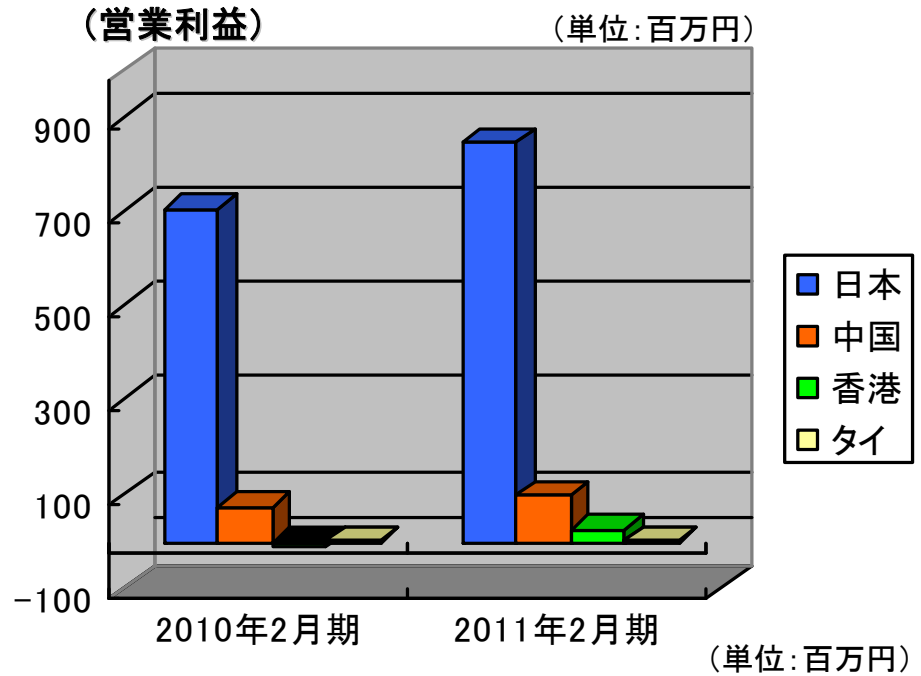
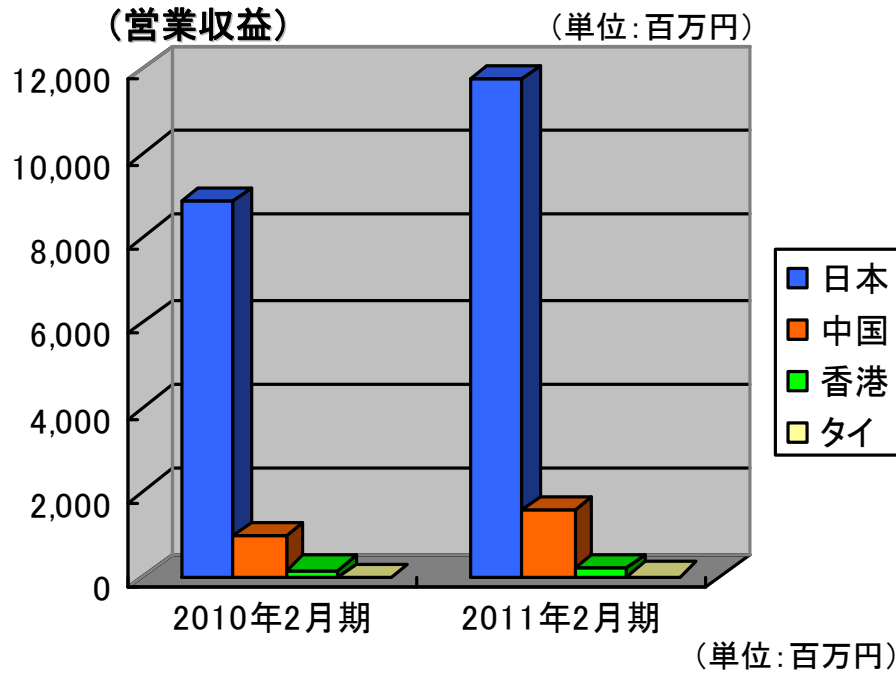
営業収益同様、海上輸送、航空輸送での取扱貨物量が増加したことによる相乗効果により、通関受注件数も増加し、売上総利益(粗利益)も増加。

■【子会社】

営業収益同様、海上輸送、航空輸送の営業収益増加に伴い、売上総利益(粗利益)も増加。



2011年2月期 所在地別セグメント



所在地	2010年2月期	2011年2月期	増減	
	金額	金額	増減額	増減比
日本	8,888	11,746	2,858	+32.2%
中国	1,008	1,611	602	+59.7%
香港	190	229	38	+20.1%
タイ	25	44	18	+73.4%
合計	10,113	13,631	3,518	+34.8%

所在地	2010年2月期	2011年2月期	増減	
	金額	金額	増減額	増減比
日本	707	848	141	+20.0%
中国	76	100	24	+32.0%
香港	△9	28	37	—
タイ	1	2	1	+40.8%
(連結調整)	8	4	△4	△52.7%
合計	783	983	199	+25.5%



2011年2月期 連結貸借対照表



～ 前年比較 ～

(単位:百万円)

	2010年 2月期	2011年 2月期	増減額	主な増減科目	増減額	コメント
流動資産	2,646	3,040	394	現金及び預金	353	主に利益の増加によるもの
				受取手形及び売掛金	89	・受取手形は、2011年2月期より新規発生(残高3百万円) ・営業収益増加に伴い、売掛金の増加(前期比85百万円増)
				有価証券	△98	有価証券の償還による減少
				その他	49	通関受注増加等による立替金等の増加
固定資産	208	236	27	差入保証金	24	子会社の拠点拡充に伴う、差入保証金の増加
(内、有形固定資産)	(21)	(21)	0	—	—	—
資産合計	2,854	3,276	422	—	—	—
流動負債	934	937	2	買掛金	46	営業収益増加に伴う営業原価の増加により買掛金が増加
				短期借入金	△20	子会社において、借入金の返済完了に伴う減少。
				未払法人税等	△17	当期中間納税額の増加により、当期末未払法人税は減少。
				預り金	△10	預り社会保険料の減少等 (前期は期末日が日曜日であり、3月月初に社会保険料を納付)
固定負債	62	100	37	退職給付引当金	17	従業員の定着率アップによる増加
				その他	20	子会社に於ける預かり保証金等の増加
負債合計	997	1,037	40	—	—	※当グループでの支払手形の発行実績はなし
純資産合計	1,857	2,239	382	利益剰余金	409	剰余金の処分(配当)、当期純利益の計上
負債純資産合計	2,854	3,276	422	—	—	※自己資本比率 68.1%(参考:2010年2月期 64.8%)



2011年2月期 連結キャッシュフロー



～ 前年比較 ～

(単位:百万円)

	2010年 2月期	2011年 2月期	増減額	主な 獲得・支出 資金額	コメント
営業活動による キャッシュ・フロー	601	528	△73	1,016	税金等調整前当期純利益
				△87	売上債権の増加 (増加△)
				46	仕入債務の増加 (減少△)
				△458	法人税等の支払額
投資活動による キャッシュ・フロー	△99	△233	△134	△992	定期預金の預入による支出
				711	定期預金の払戻による収入
				△201	有価証券の取得による支出
				300	有価証券の売却による収入
				△40	長期保証金の差入による支出
財務活動による キャッシュ・フロー	△252	△185	66	△170	配当金の支払額
現金及び現金同等物 期末残高	1,340	1,412	72	-	-



2011年2月期 単体業績概要



■ 営業収益(売上高)及び損益関係

～ 前年比較 ・ 対外発表比較 ～

(単位:百万円)

	2010年2月期		2011年2月期		前期比増減		対外発表金額	対外発表増減	
	金額	営業収益比率	金額	営業収益比率	金額	前年比		金額	対外発表比
営業収益	8,654	100.0%	11,401	100.0%	2,746	+31.7%	11,376	24	+0.2%
売上総利益	2,091	24.2%	2,372	20.8%	280	+13.4%	—	—	—
(販売費及び一般管理費)	(1,354)	(15.6%)	(1,512)	(13.3%)	(158)	(+11.7%)	—	—	—
営業利益	737	8.5%	859	7.5%	122	+16.6%	781	77	+10.0%
経常利益	773	8.9%	903	7.9%	130	+16.9%	812	91	+11.3%
当期純利益	441	5.1%	448	3.9%	6	+1.6%	471	△22	△4.7%

(※ 対外発表金額は、平成22年8月31日発表「平成23年2月期(平成22年3月1日～平成23年2月28日)の業績予想」の数値となります。)



営業収益推移(単体)



■ 輸送別営業収益推移

(単位:百万円)

	2009年2月期		2010年2月期			2011年2月期		
	営業収益	構成比	営業収益	増減比	構成比	営業収益	増減比	構成比
輸 入	8,172	92.7%	7,953	△2.7%	91.9%	10,597	+33.2%	93.0%
輸 出	530	6.0%	485	△8.5%	5.6%	498	+2.7%	4.4%
そ の 他	116	1.3%	216	+85.3%	2.5%	305	+40.9%	2.7%
合 計	8,820	100.0%	8,654	△1.9%	100.0%	11,401	+31.7%	100.0%

■ 中国との貨物輸送による営業収益推移

(単位:百万円)

地域	営業別セグメント	2009年2月期		2010年2月期		2011年2月期	
		営業収益	構成比 (対全体収益)	営業収益	構成比 (対全体収益)	営業収益	構成比 (対全体収益)
中国	海上輸送	6,655	75.5%	6,064	70.1%	7,770	68.2%
	輸入	6,442	73.0%	5,881	68.0%	7,587	66.6%
	輸出	213	2.4%	183	2.1%	182	1.6%
	航空輸送	323	3.7%	412	4.8%	560	4.9%
	通関	845	9.6%	1,088	12.6%	1,503	13.2%
	その他	21	0.2%	24	0.3%	19	0.2%
	合計	7,847	89.0%	7,589	87.7%	9,854	86.4%
その他	合計	973	11.0%	1,065	12.3%	1,546	13.6%
合計	海上輸送	7,305	82.8%	6,728	77.7%	8,675	76.1%
	航空輸送	363	4.1%	433	5.0%	646	5.7%
	通関	1,034	11.7%	1,275	14.7%	1,773	15.6%
	その他	116	1.3%	216	2.5%	305	2.7%
	合計	8,820	100.0%	8,654	100.0%	11,401	100.0%

単体営業収益の内、輸入に於ける収益の割合が、全体の93.0%と大部分を占める。
また、中国との貨物輸送に於ける営業収益は、全体の86.4%を占め、特に、海上輸送輸入の割合が、66.6%を占める。

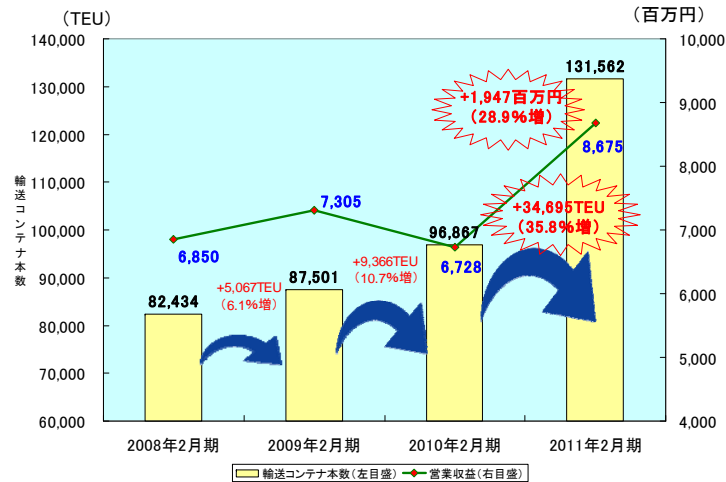


当社取扱いコンテナ本数推移



【当社実績】

(単位: 輸送コンテナ本数=TEU)
(単位: 営業収益=百万円)



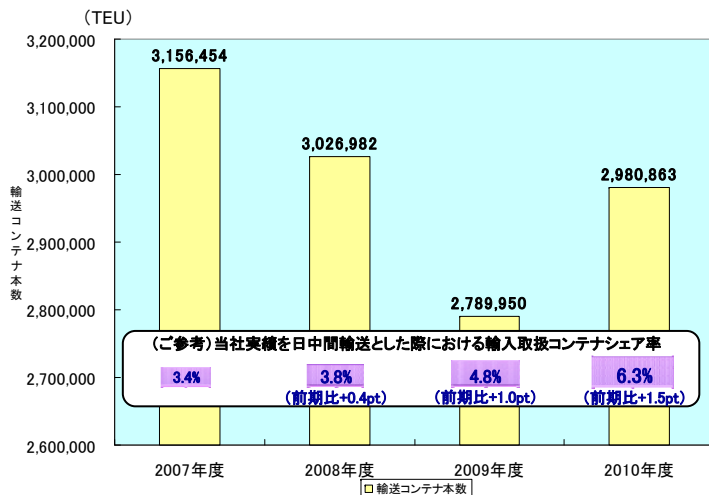
		2008年	2009年	2010年	2011年
		2月期	2月期	2月期	2月期
輸入	輸送コンテナ本数	73,868	78,192 (+5.9%)	88,316 (+12.9%)	123,390 (+39.7%)
	営業収益	6,451	6,908 (+7.1%)	6,348 (-8.1%)	8,321 (+31.1%)
輸出	輸送コンテナ本数	8,566	9,309 (+8.7%)	8,551 (-8.1%)	8,172 (-4.4%)
	営業収益	399	396 (-0.8%)	379 (-4.2%)	354 (-6.8%)
合計	輸送コンテナ本数	82,434	87,501 (+6.1%)	96,867 (+10.7%)	131,562 (+35.8%)
	営業収益	6,850	7,305 (+6.6%)	6,728 (-7.9%)	8,675 (+28.9%)

※ 当社の輸送コンテナ本数は、当社決算期である3月～翌年2月の1年間の本数となります。

海上輸送の内、コンテナ本数で輸入割合93.8%、営業収益で輸入割合95.1%

【(ご参考)市場実績】

(単位: 輸送コンテナ本数=TEU)



		2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
				増減比	増減比
輸入	輸送コンテナ本数	2,174,130	2,068,665 (-4.9%)	1,847,497 (-10.7%)	1,954,237 (+5.8%)
	輸送コンテナ本数	982,324	958,317 (-2.4%)	942,453 (-1.7%)	1,026,626 (+8.9%)
合計	輸送コンテナ本数	3,156,454	3,026,982 (-4.1%)	2,789,950 (-7.8%)	2,980,863 (+6.8%)

※ 出所: SCAGA統計資料より (統計期間 毎年1月～12月)

**当社実績を日中間輸送とした場合のシェアは、
2009年度4.8% ⇒ 2010年度 6.3%と1.5ポイント上昇**



海上輸送形態別推移（単体）



■ 海上輸送形態別 営業収益

（単位：百万円）

		2009年2月期		2010年2月期			2011年2月期		
輸送形態		金額	構成比	金額	増減比	構成比	金額	増減比	構成比
輸入	F C L	5,719	78.3%	5,219	△8.7%	77.6%	7,116	+36.3%	82.0%
	L C L	1,189	16.3%	1,128	△5.1%	16.8%	1,205	+6.8%	13.9%
輸出	F C L	289	4.0%	301	+4.3%	4.5%	269	△10.6%	3.1%
	L C L	107	1.4%	78	△27.2%	1.1%	84	+8.0%	1.0%
合計		7,305	100.0%	6,728	△7.9%	100.0%	8,675	+28.9%	100.0%

■ 海上輸送形態別 売上総利益

（単位：百万円）

		2009年2月期		2010年2月期			2011年2月期		
輸送形態		金額	構成比	金額	増減比	構成比	金額	増減比	構成比
輸入	F C L	895	66.7%	1,036	+15.8%	69.8%	1,124	+8.5%	70.7%
	L C L	385	28.7%	395	+2.8%	26.7%	412	+4.2%	25.9%
輸出	F C L	31	2.3%	30	△2.6%	2.0%	30	+1.1%	1.9%
	L C L	30	2.3%	22	△25.9%	1.5%	22	+2.6%	1.5%
合計		1,341	100.0%	1,484	+10.7%	100.0%	1,590	+7.1%	100.0%

用語解説

- FCL … 単一荷主の貨物をコンテナ単位で輸送すること
- LCL … 複数の荷主からコンテナ単位に満たない小口貨物を集荷し、それらの貨物をコンテナ単位にまとめて輸送すること

輸入のLCLは、営業収入に占める割合は13.9%であるものの、売上総利益では、25.9%占めており、総利益率は高い。
また、輸入LCLは、金額ベースでは、増加しているものの、それ以上に、輸入FCLの増加比率が高く、構成比率は低下している。

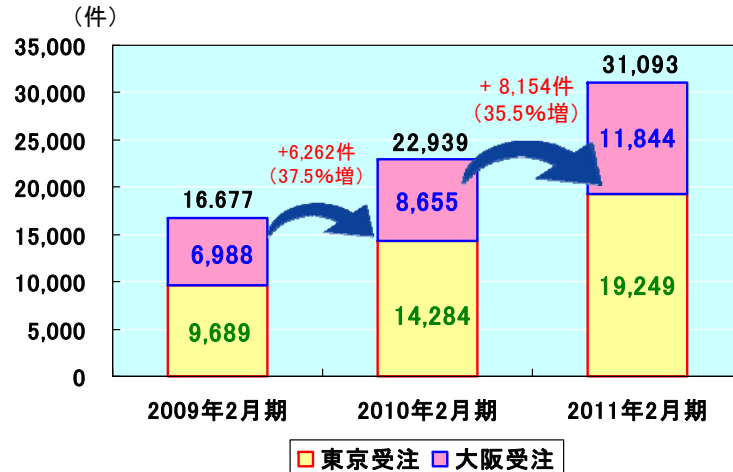


通関受注実績（単体）



通関受注件数推移

(単位: 件)

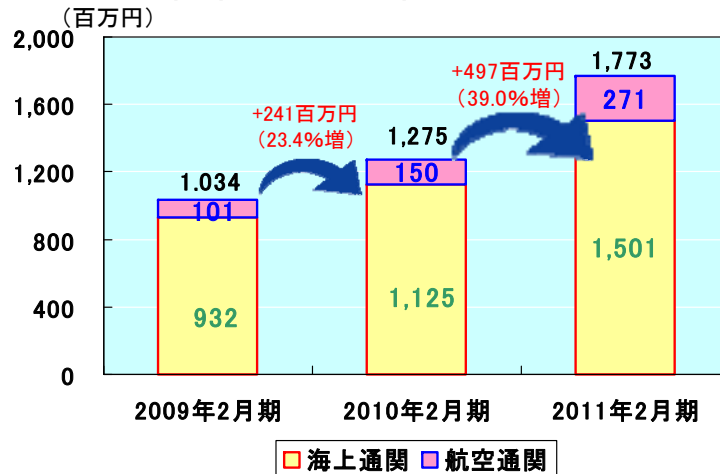


	2009年2月期	2010年2月期		2011年2月期			
	件数	件数	増減数	増減比	件数	増減数	増減比
東京受注	9,689	14,284	4,595	+47.4%	19,249	4,965	+34.8%
(輸入)	8,482	12,951	4,469	+52.7%	17,296	4,345	+33.5%
(輸出)	1,207	1,333	126	+10.4%	1,953	620	+46.5%
大阪受注	6,988	8,655	1,667	+23.9%	11,844	3,189	+36.8%
(輸入)	6,051	7,727	1,676	+27.7%	10,612	2,885	+37.3%
(輸出)	937	928	△9	△1.0%	1,232	304	+32.8%
合計	16,677	22,939	6,262	+37.5%	31,093	8,154	+35.5%

東京受注の増加が著しい

通関営業収益推移

(単位: 百万円)



	2009年2月期	2010年2月期		2011年2月期			
	金額	金額	増減額	増減比	金額	増減額	増減比
海上通関	932	1,125	192	+20.7%	1,501	376	+33.4%
(輸入)	844	1,063	218	+25.9%	1,428	365	+34.3%
(輸出)	87	61	△25	△29.5%	72	11	+17.8%
航空通関	101	150	48	+48.1%	271	121	+80.8%
(輸入)	75	115	40	+54.5%	210	94	+81.5%
(輸出)	26	34	7	+29.8%	61	27	+78.7%
合計	1,034	1,275	241	+23.4%	1,773	497	+39.0%

海上・航空との一貫輸送の提案セールスを積極的に展開した結果、前年と比較し、通関受注件数、及び営業収益が大きく増加。



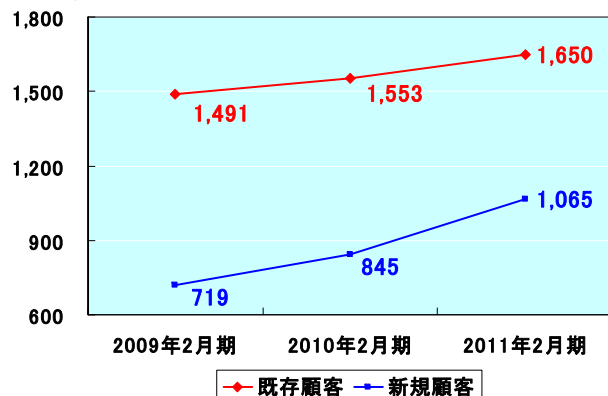
取引先数推移 (単体)



取引先数推移

(先)

(単位:先)



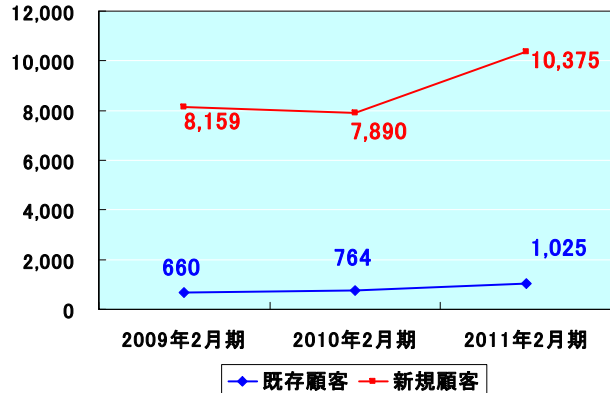
	2009年2月期		2010年2月期			2011年2月期		
	取引先数	構成比	取引先数	増減比	構成比	取引先数	増減比	構成比
新規顧客	719	32.5%	845	+17.5%	35.2%	1,065	+26.0%	39.2%
既存顧客	1,491	67.5%	1,553	+4.2%	64.8%	1,650	+6.2%	60.8%
全取引先数	2,210	100.0%	2,398	+8.5%	100.0%	2,715	+13.2%	100.0%

(※ 該当期とその前年を比較し、前年において取引がなかった顧客を、新規顧客として計算しています。)

新規・既存顧客に於ける営業収益推移

(百万円)

(単位:百万円)



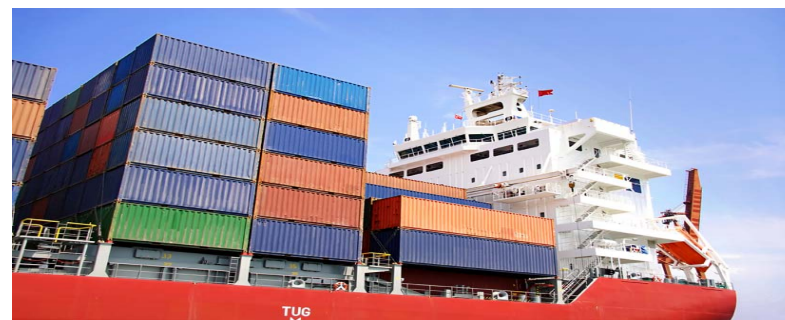
	2009年2月期		2010年2月期			2011年2月期		
	営業収益	構成比	営業収益	増減比	構成比	営業収益	増減比	構成比
新規顧客	660	7.5%	764	+15.7%	8.8%	1,025	+34.2%	9.0%
既存顧客	8,159	92.5%	7,890	△3.3%	91.2%	10,375	+31.5%	91.0%
合計	8,820	100.0%	8,654	△1.9%	100.0%	11,401	+31.7%	100.0%

(※ 該当期とその前年を比較し、前年において取引がなかった顧客を、新規顧客として計算しています。)

積極的な営業活動により、新規顧客の獲得、既存顧客のシェア拡大を図り、前期を上回る取引先からの受注を獲得。



業績見通し（2012年2月期 業績見通し）





2012年2月期(連結)通期見通し-1



(単位:百万円)

		2011年2月期 (実績)	営業収益比	2012年2月期 (予想)	営業収益比	増減金額	前年比
上期	営業収益	6,675	100.0%	7,744	100.0%	1,069	+16.0%
	営業利益	499	7.5%	518	6.7%	18	+3.7%
	経常利益	526	7.9%	536	6.9%	10	+2.0%
	当期純利益	313	4.7%	323	4.2%	10	+3.3%
下期	営業収益	6,956	100.0%	8,819	100.0%	1,863	+26.8%
	営業利益	483	7.0%	626	7.1%	143	+29.6%
	経常利益	496	7.1%	641	7.3%	144	+29.2%
	当期純利益	267	3.8%	396	4.5%	129	+48.6%
通期	営業収益	13,631	100.0%	16,563	100.0%	2,932	+21.5%
	営業利益	983	7.2%	1,145	6.9%	161	+16.4%
	経常利益	1,022	7.5%	1,177	7.1%	155	+15.2%
	当期純利益	580	4.3%	720	4.4%	140	+24.1%

- 上期は、営業収益は伸びているものの、4月に改定される仕入運賃の販売価格への転嫁が進まないことや、中途採用人員の戦力化に時間を要することを勘案し、粗利益が低下すると計画。
- 下期は、上期実績を踏まえ、積極的な営業活動を展開する計画。



■ セグメント別営業収益(売上高)増減詳細 (前期比較)

(単位:百万円)

	2011年2月(実績)		2012年2月期(予想)		増減額	増減内訳額	増減内訳
	金額	構成比	金額	構成比			
海上輸送	8,675	63.6%	10,499	63.4%	1,823	△286	為替の影響
						△17	販売価格の減少
						+2,127	貨物量の増加
航空輸送	646	4.8%	746	4.5%	100	△40	為替の影響
						+35	販売価格の上昇
						+105	貨物量の増加
通関	1,773	13.0%	2,254	13.6%	481	+481	受注件数の増加
その他	305	2.2%	331	2.0%	26	+26	受注の増加
子会社	2,230	16.4%	2,730	16.5%	500	+500	子会社での収益増加
合計	13,631	100.0%	16,563	100.0%	2,932		

■【為替】

2012年2月期は、前年比更なる円高を想定

1米ドル当たりの売上計上加重平均為替レート

2011年2月期 87.51円



(期中平均△5.51円)

2012年2月期 82.00円

■【販売価格の減少・貨物量の増加】

前期と比較し、販売価格の低下を見込んでいるものの、更なる既存顧客の物量の確保、新規顧客の獲得を進めることにより、増収を計画。

■【通関受注件数の増加】

海上輸送、航空輸送での取扱貨物増加による相乗効果により、通関受注件数も増加を見込み、増収を計画。

(受注件数:前期実績 31,093件

当期計画 37,000件 ⇒約6,000件の増加を計画)

■【子会社】

海上輸送、航空輸送の取扱貨物増加を見込み、子会社でも増収を計画。



■ セグメント別売上総利益(粗利益)増減詳細 (前期比較)

(単位:百万円)

	2011年2月(実績)		2012年2月期(予想)		増減額	増減内訳額		増減内訳
	金額	構成比	金額	構成比				
海上輸送	1,590	53.2%	1,809	51.4%	219	△94	△52 △17 △77	為替の影響 販売価格の減少 仕入価格の上昇
							+366	貨物量の増加
航空輸送	133	4.5%	146	4.2%	12	0	△8 35 △35	為替の影響 販売価格の上昇 仕入価格の上昇
							+20	貨物量の増加
通関	603	20.1%	710	20.2%	107		+107	受注件数の増加
その他	44	1.5%	46	13%	1		+1	受注の増加
子会社	620	20.7%	804	22.9%	184		+184	子会社での収益増加
合計	2,992	100.0%	3,518	100.0%	526			

■【為替】

前期比1米ドル当たり5.51円の円高の計画により、売上総利益にも影響し、前期比売上総利益は減少を見込む計画。

■【販売価格の減少・貨物量の増加】

海上輸送では、前期と比較し、既存顧客のシェア拡大、新規顧客の獲得を進めることにより、販売価格の低下を見込み、また、前期同様、仕入運賃についても、上昇を見込むが、物量の増加でカバーする予定。航空輸送では、仕入価格が上昇するものの、販売価格には、すべて転嫁できないと計画。

■【通関受注件数の増加】

営業収益同様、海上輸送、航空輸送での取扱貨物増加による相乗効果により、通関受注件数も増加を見込み、売上総利益も増益を計画。

■【子会社】

営業収益同様、海上輸送、航空輸送の営業収益増加に伴い、売上総利益も増益を計画。



社員及び臨時従業員数



■ 社員及び臨時従業員数集計

(単位:名)

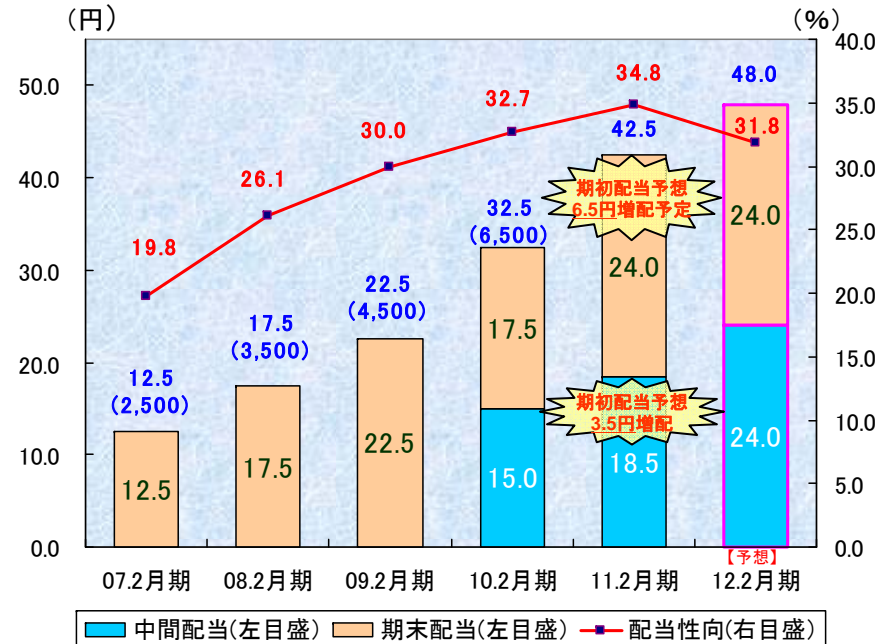
		2010年2月期 (実績)	2011年2月期 (実績)	2012年2月期 (予想)
社員	(株)エーアイテイー ※1	145	155	192
	(株)AITソリューションズ ※2	7	7	7
	上海愛意特国際物流有限公司 ※2	137	165	178
	愛特(香港)有限公司 ※2	18	17	24
	AIT LOGISTICS(THAILAND)LIMITED ※2	4	5	6
	社員 合計	311	349	407
臨時従業員	臨時従業員 合計	17	※3 49	68
総合計		328	398	475
前年対比増減		+26	+70	+77
(内 (株)エーアイテイーの営業人員数)		42	47	61

- (注) ※1 (株)エーアイテイーには、ベトナム駐在員事務所所属の社員を含みます。
 ※2 連結対象子会社であります。
 ※3 臨時従業員の内訳は、(株)エーアイテイー27人、(株)AITソリューションズ22人

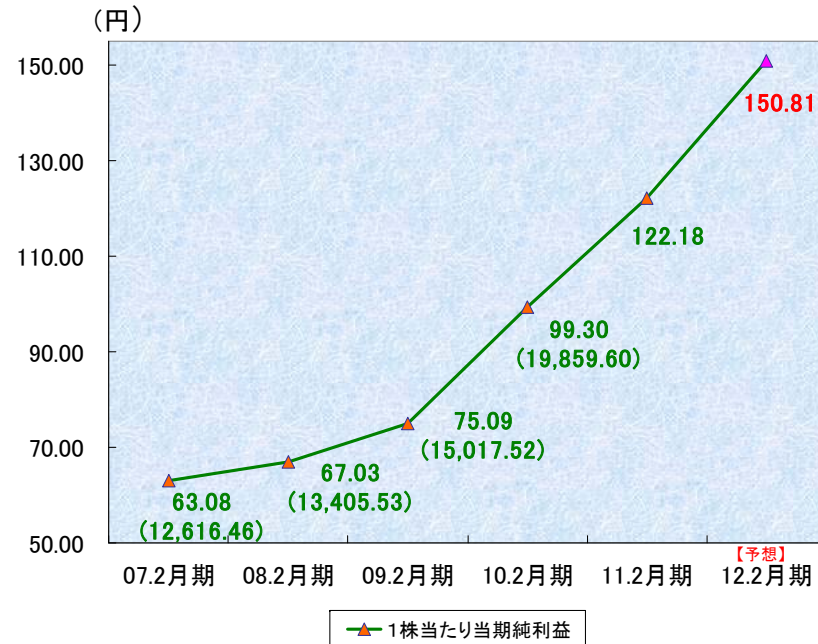
2012年2月期では、社員58名増(内 営業人員の増員は14名)を予定。



■ 1株当たり年間配当金、及び配当性向 (注1)



■ 1株当たり当期純利益 (注2)



- (注) 1. 2010年3月1日付けにて、1株につき200株の割合をもって株式分割をおこなっています。よって、2010年2月期以前の1株当たりの配当金は、株式分割を過年度に遡及して表示しており、株式分割前の実配当額は、()に明記しております。
2. 2010年2月期以前の1株当たりの当期純利益においても、株式分割を過年度に遡及して表示しており、株式分割前の実額は、()に明記しております。

【2011年2月期】

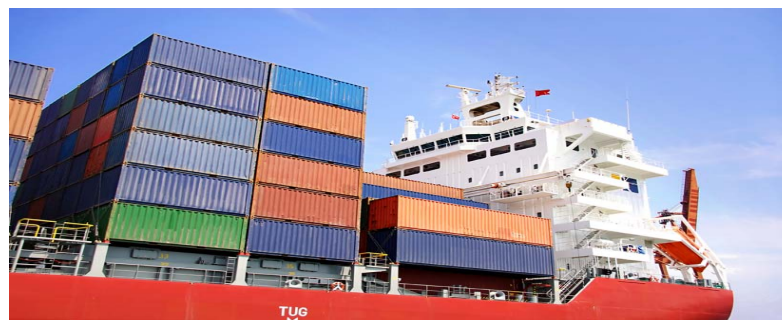
1株当たりの配当額を、前期比中間で3.5円の増配を実施し、期末配当予想は、期初予想から**6.5円**の増配を予定。

【2012年2月期】

1株当たりの配当額を、**中間期24.0円、期末24.0円** (年間計48.0円)で計画。



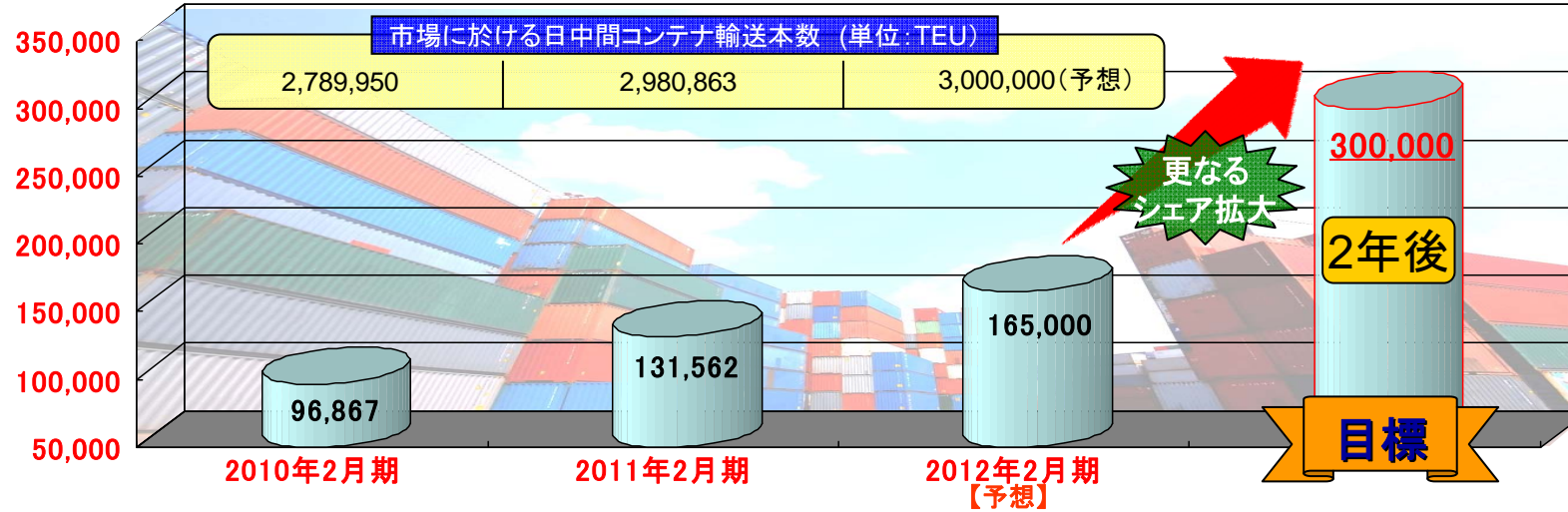
今後の事業戦略および展開





■ 海上貨物取扱の増強

(単位:本=TEU)



※ 海上貨物取扱量の増強

① 営業マンの増強 → 2年後には100名体制(現在47名)

	(現在:2011/2)	(2012/2)	(2年後)
大阪(含名古屋)	29	33	46
東京	18	28	54
合計(名)	47	61	100

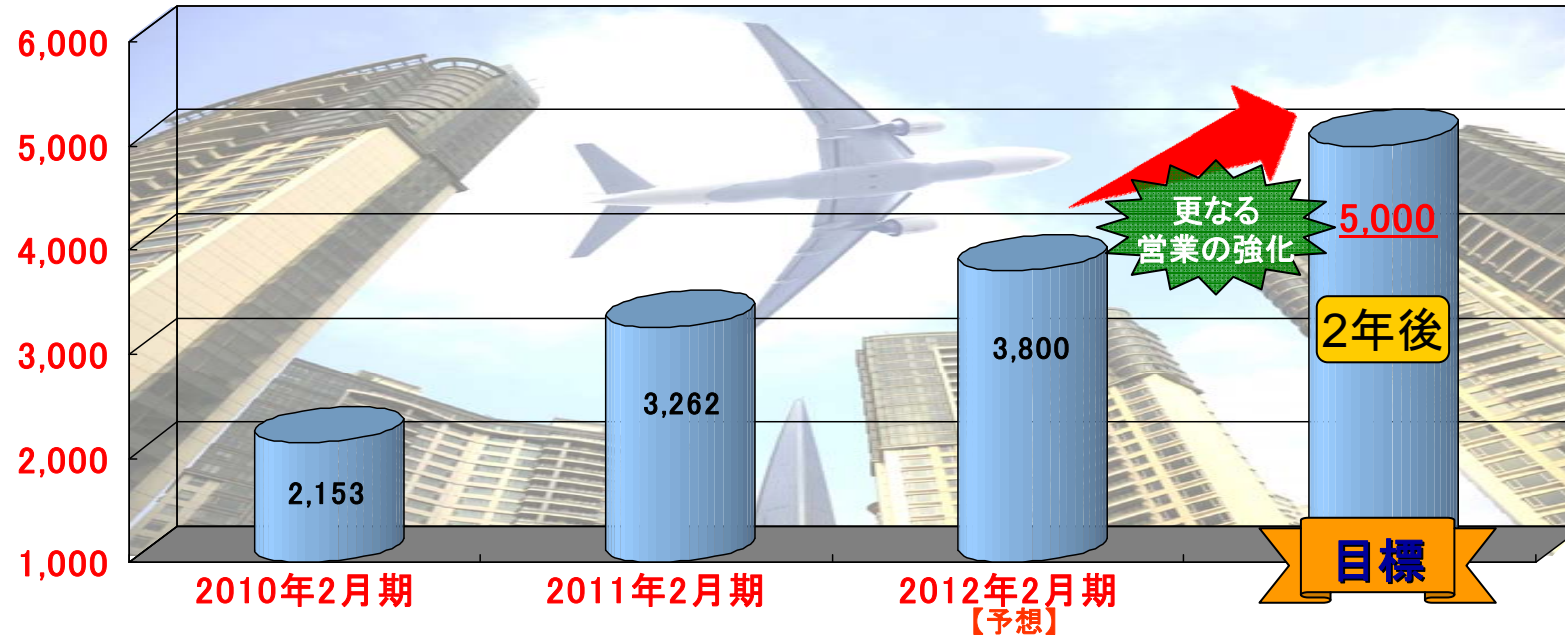
② 取引先に対する物流一貫体制の提案営業を強化

③ 新CISによる更なるサービスの差別化を実施



■ 航空貨物取扱の増強

(単位:トン)



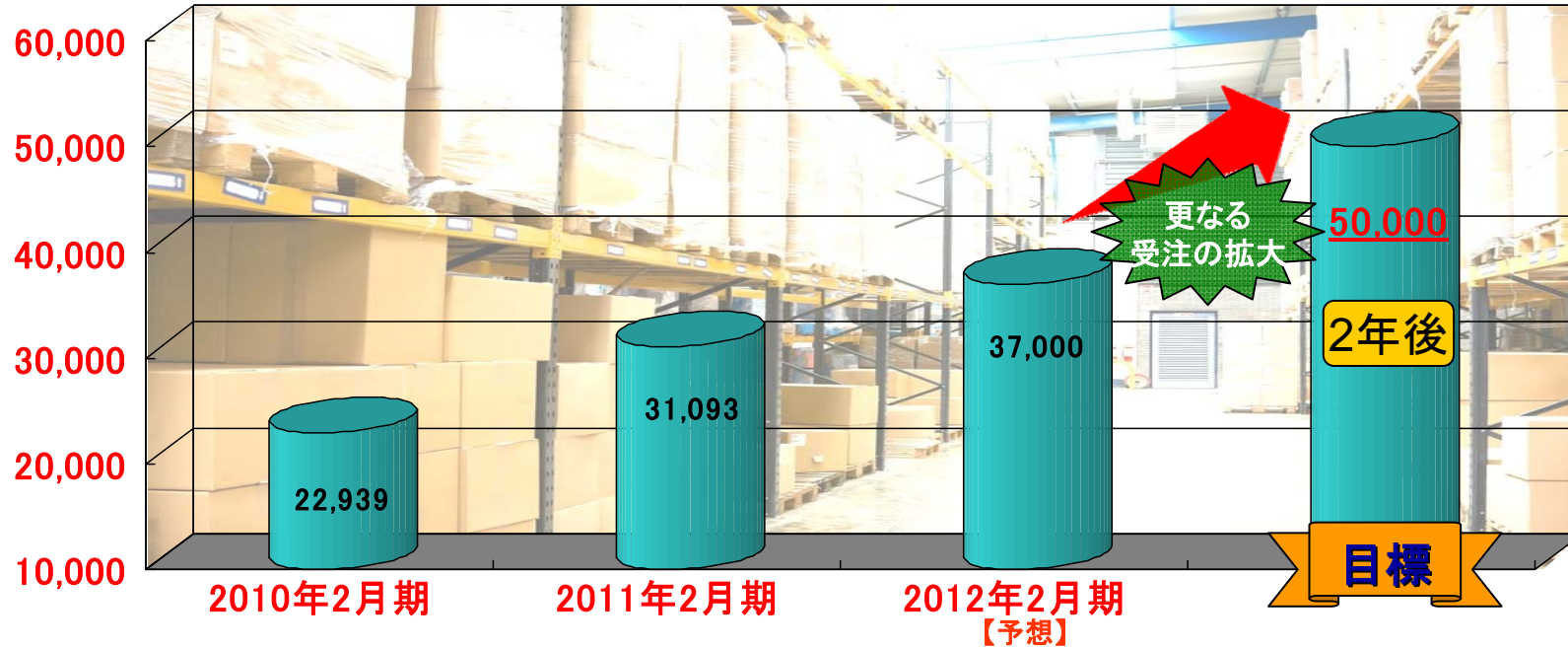
※ 航空営業収益の増強

- ① 国際空港(候補地:成田)へ事務所を設立し、更なる航空貨物の集荷作戦を展開
- ② 海外拠点網を最大限活用したセールス強化とオペレーション力強化



■ 通関営業収益の増強

(単位:件)

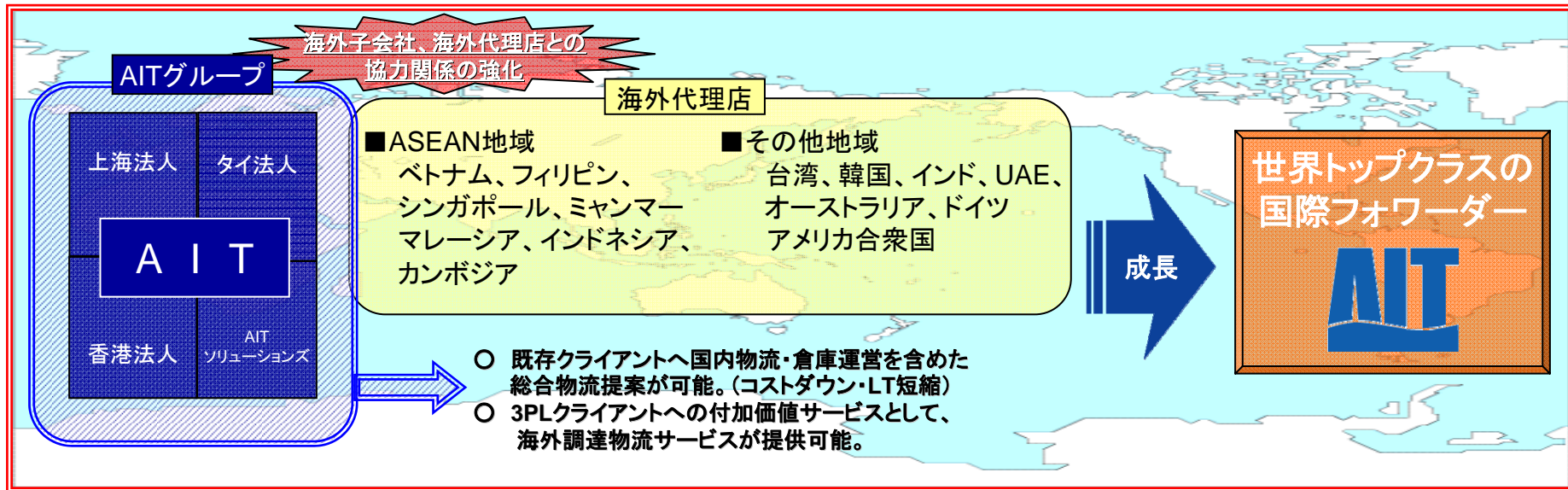


※ 通関営業収益の増強

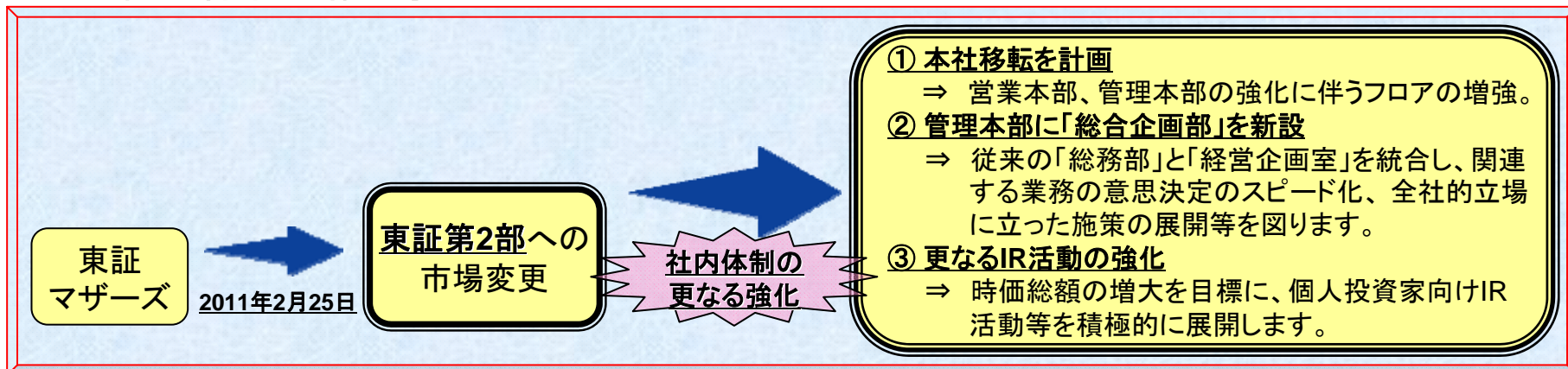
一貫輸送提案の積極的展開による通関受注件数の増強



1. AITグループを挙げて総合力の発揮

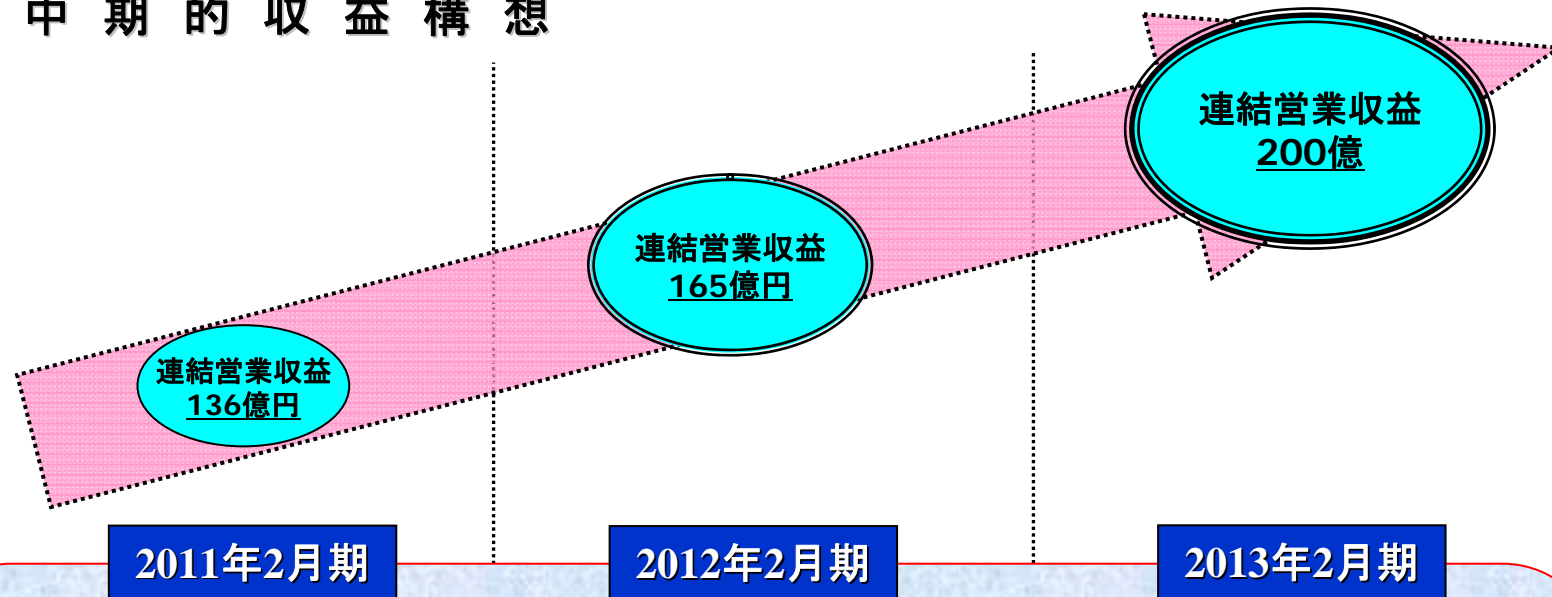


2. 社内体制整備の強化





■ 中期的収益構想



【収益拡大に向けての今後の取組み】

(国内)

- 営業人材を補充し、首都圏並びに日本国内での更なる顧客獲得を目指す
- 競業他社との差別化を図るべく、新輸送サービスの開発
- 国内外の高度な物流企業との業務提携、戦略的M&A
- AITソリューションズとの協業による、国内物流事業の拡充

(海外)

- 中国国内での倉庫業、国内物流等、サービスメニューの拡大
- 東南アジアを中心とするASEAN地域でのサービス拡大
- 欧州、米国ルートの開発

本日は、ご清聴ありがとうございました。



【お問合せ先】 経営企画室 企画IR課
TEL:06-6205-2612 FAX:06-6205-2613

経営企画室長 伊部己代二
経営企画室 企画IR課長 中川善郎

———本資料取扱い上の注意———

本資料に記載されている将来の見通しなどについては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が独自に予測したものであり、リスクや不確実性の要素を含んでおります。従いまして、通常予測し得ないような特別事情の発生や通常予測し得ないような結果の発生などにより、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

よって投資家の皆様につきましては、本資料の将来見通しのみには依拠することなく、投資に関するご決定は皆様自身のご判断で行っていただきますようお願いいたします。

なお、本資料で使用するデータ及び表現の欠落・誤謬等に関しましてもその責を負いかねますのでご了承ください。

また、本資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更することもありますので、ご了承ください。